

政策シート 政策名 02 “まち”と“むら”をつないで実現する中山間地域の振興
予算費目名 01 中山間地域振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 07 地方自治・都市経営

理想の姿 (30年後) ◆協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

政策の柱 (10年後) ◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

基本政策 02 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

(2) 政策の概要(当年度(2024年度)実施内容)

市内の中山間地域と都市部の交流(市内間交流)を核として、様々な交流機会を創出することで地域に継続して関わる者や移住者を増加させ、中山間地域の振興を実現する。
また、移住コーディネーターとの連携により都市部から中山間地域への移住・定住を促進するとともに、中山間地域に暮らし続けることができる環境づくりのため、地域主体によるまちづくりへの支援や新たな仕事づくりの研究等を進め、地域主体による持続可能なまちづくりに結びつける。

(3) 関連するSDGsのゴール

①都市						⑧成長・雇用		
						⑩実施手段		

2 政策コストの状況(千円)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
予算	249,899	105,519	277,806	249,257	216,911	200,011
決算	230,014	91,764	240,205	222,028	198,670	175,161
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	36,680	36,680	29,680	29,680	33,600	44,800
年間経費(決算+A+B)	266,694	128,444	269,885	251,708	232,270	219,961

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024
中山間地域の人口減少率 (本年人口÷前年人口×100-100)	%	目標	-2.25	-2.2	-2.1	-2.0	-1.9	-1.8
		実績	-2.43	-2.33	-2.37	-2.29	-2.74	-2.73
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)政策評価

(1) 当年度(2024年度)実施内容

中山間地域と都市部住民との交流機会を創出する各種交流事業の実施を通じて、幅広い世代において市内間交流を深めた。
中山間地域に暮らし続けることができる環境づくりのため、地域主体によるまちづくりへの支援を行うとともに、移住コーディネーターとの連携やWelcome集落の活動等により中山間地域への移住を促進した。
浜松山里いきいき応援隊等の外部人材の活用により、地域の担い手の確保と地域の活性化を図った。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗> 計画通り

中山間地域と都市部住民との交流機会を創出する各種交流事業の実施を通じて、幅広い世代において市内間交流を深めた。また、地域の商工会や観光協会等と協働で中山間地域紹介冊子を制作、配布し中山間地域をPRした。
移住コーディネーターとの連携やWelcome集落の活動などを通じて、移住希望者に寄り添った相談対応を行い、中山間地域への移住・定住を促進した。
新たな仕事づくりの研究においては、民間専門人材を活用し、連携・協働による新事業展開に向けた支援を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	市内間交流事業	○	○		23,362	17,706	1.0			0.3
2	居住促進事業	○	○		5,262	3,862	0.3			0.2
3	生活支援事業	○	○		41,581	41,930	1.3			
4	中山間地域まちづくり事業	○	○		18,486	10,478	1.2			
5	みんなの中山間地域応援事業	○	○		15,740	20,000	0.5			
6	中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業	○	○		1,400	2,000	0.2			
7	過疎地域持続的発展事業基金積立金(一般諸経費のみ)	-	-		98,159	97,599				0.2
8	中山間地域振興運営経費(一般諸経費のみ)	-	-		15,971	6,436	1.5			0.3
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
計					219,961	200,011	6.0			1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 市内間交流事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

中山間地域振興のため、中山間地域と都市部の交流促進を図り、市民の中山間地域に対する関心を高める。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1962	-	一般会計	自治事務	過疎法、辺地法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(3)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	①実施手段
事業とゴールの 関連性	①中山間地域と都市部との交流を促進することにより、地域間の関わりが深まり、経済や社会、環境面等において良好なつながり(連携)が生まれる。 ①中山間地域と都市部との交流を促進することにより、地域間において、地域や官民連携による取組みが推進される。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	16,081	12,813	16,748	16,758	15,377	17,706
	決算	12,015	6,778	9,755	13,898	13,304	15,522
	国・県支出		2,500	801	1,100	817	
	市債						
	その他	6,000		5,000	7,000	4,000	9,400
	一般財源	6,015	4,278	3,954	5,798	8,487	6,122
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		9,800	9,800	7,140	7,140	6,860	7,840
人工	正規	1.2	1.2	0.9	0.9	0.9	1.0
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.5	0.5	0.3	0.3	0.2	0.3
年間経費(決算+A+B)		21,815	16,578	16,895	21,038	20,164	23,362

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市が実施する交流事業の回数(回)	Ⅲ-2(3) イ	目標	24	30	30	30	30	30
		実績	30	17	33	36	41	37
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 子ども中山間地域交流事業(都市部小学生と中山間地域住民等との交流)
- 中山間地域プロモーション事業(中山間地域紹介冊子制作、2024ザ・山フェス)
- 交流促進事業
 - ・まちむらりレーション市民交流会議(オール浜松で中山間地域の可能性を考えるシンポジウム)
 - ・中山間地域ラジオ発信事業(都市部へ中山間地域の暮らしや観光、イベント情報を発信)
 - ・中山間地域やまもりアドベンチャー事業(中山間地域をクイズラリー形式により巡る自由参加型イベント)
 - ・中山間地域交流デラックス事業(都市部市民を対象とした、中山間地域の魅力を体感できる体験ツアーの開催)
 - ・山の日ツアー事業(都市部市民が中山間地域を訪問し地域の魅力と役割について知識を深め、交流のきっかけをつくるバスツアー)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

- (1)事業の成果と課題
指標の達成度
・子ども中山間地域交流事業や中山間地域やまもりアドベンチャー事業、まちむらりレーション市民交流会議、中山間地域交流デラックス事業など、様々な年代、属性の都市部住民が中山間地域の魅力を体感できるよう各種事業を実施した。
・中山間地域プロモーション事業を、地域の商工会や観光協会と協働で実施した。(中山間地域紹介冊子制作、2024ザ・山フェス)
・中山間地域への継続的な来訪やさらには地域間交流につながるような展開が必要である。
- 【2024年度実績】37回
子ども中山間地域交流6回、中山間地域プロモーション事業1回、まちむらりレーション市民交流会議1回、中山間地域ラジオ4回、中山間地域やまもりアドベンチャー事業1回、中山間地域交流デラックス事業10回、山の日ツアー事業1回、中山間地域交流ネットワーク事業13回
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

- (1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工
・山の日に合わせて、都市部市民が中山間地域の生活を体験するバスツアーを実施した。
- (2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工
・中山間地域交流デラックス事業と山の日ツアー事業を統合し、都市部市民が年間を通して参加できる魅力的な地域体感プログラムを実施する。
・中山間地域には、伝統ある行事や祭事、雄大な自然が織りなす絶景などの魅力があるため、それらを都市部市民にプロモーションするデジタルサイネージ広告や動画配信サイト等の様々な媒体にて使用可能であるプロモーション映像を制作する。

事業シート (事業名) 02 居住促進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

中山間地域の振興のため、都市部からの移住・定住の促進を図ることにより担い手を確保し、中山間地域の集落機能を維持する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1962	-	一般会計	自治事務	過疎法、辺地法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(3)イ				

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	①実施手段
事業とゴールの 関連性	①地域の担い手となる移住者の増加を図ることにより、住み続けられる環境づくりを促進する。 ①地域住民の支援活動による移住の促進により、移住者と地域住民の良好な協力関係を実現する。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,269	4,269	5,290	12,829	10,867	3,862
	決算	2,813	3,121	2,165	6,934	8,838	2,602
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,400	81	85	5,076	4,077	1,994
一般財源		1,413	3,040	2,080	1,858	4,761	608
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,380	2,380	2,520	2,520	3,220	2,660
人工	正規	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.4	0.4	0.4	0.2
年間経費(決算+A+B)		5,193	5,501	4,685	9,454	12,058	5,262

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(人)	Ⅲ-2(3) イ	目標	30	31	32	33	34	35
		実績	21	33	21	71	37	61
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- Welcome集落事業(移住者を受け入れる集落側の活動に対する報償費:移住実績1人につき10万円)
- 移住促進空き家活用事業(移住者への空き家の提供に対する報償費:1件につき20万円)
- 田舎暮らしお試し住宅事業(移住希望者が短期体験居住するためのお試し住宅の運営)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数は、目標の35人に対して61人の実績である。
- ・Welcome集落事業を通じた移住者は、6世帯15人であった。
- ・中山間地域への移住を促進し、地域の担い手となる移住者を確保するためには、地域住民による移住者受け入れ活動が効果的であり、Welcome集落の登録エリアの拡大が重要である。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・働き方や暮らしを見直す動きが加速しており、自分に合った豊かなライフスタイルを実現しやすい、地方回帰や田舎暮らしの機運が高まっている。
- ・中山間地域における著しい人口減少、高齢化により、受け入れ側となる集落の地域活動維持が課題となっている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・移住者受入れ活動を行うWelcome集落について、これまで自治会単位で登録していたが、地域で活動を維持し連携を高める観点から、より広範囲な地区自治会連合会単位での登録へと変更する動きがあった。
- ・移住促進空き家活用事業について、2024年度までに31件の活用があり61人が移住した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・中山間地域の集落が自主的に移住者の受入れ活動を行うことが重要であるため、自治会等へWelcome集落制度について丁寧に説明し、登録を促すとともに、移住者の受入れについて伴走型で支援していく。

事業シート (事業名) 03 生活支援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

中山間地域の集落機能の維持、向上のため、外部人材の積極的な活用や地域の新たな産業創出の可能性の研究等を行い、地域の活性化を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
1962	-	一般会計	自治事務	過疎法、辺地法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(3)イ				

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	⑧成長・雇用	⑩実施手段
事業とゴールの関連性	⑧⑩地域住民や民間事業者との協働により、新たな産業の創出や新技術を活用することで持続可能な生活環境を確保する。 ⑩地域おこし協力隊等の外部人材の活用により、集落機能の維持、向上を図ることで持続可能な地域づくりを促進する。	

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	49,139	36,951	51,330	56,290	49,839	41,930
	決算	42,042	31,627	45,060	52,088	42,454	32,481
	国・県支出						
	市債						
	その他	9,700			2,000		500
	一般財源	32,342	31,627	45,060	50,088	42,454	31,981
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		10,080	10,080	7,980	7,980	7,980	9,100
人工	正規	1.4	1.4	1.1	1.1	1.1	1.3
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
年間経費(決算+A+B)		52,122	41,707	53,040	60,068	50,434	41,581

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
浜松山里いきいき応援隊の隊員数(人)		目標	12	12	12	15	15	15
		実績	11	12	12	15	14	11
新たな仕事づくり事業数累計(事業)		目標	3	3	3	4	4	5
		実績	2	2	2	3	3	3
市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(人)	Ⅲ-2(3) イ	目標	30	31	32	33	34	35
		実績	21	33	21	71	37	61
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 浜松山里いきいき応援隊活動事業
・地域おこし協力隊制度等を活用して中山間地域に隊員を配置し、地域振興や生活支援を目的とした活動を行った。
- 浜松山里いきいき応援隊マネジメント事業
・隊員ミーティングや研修、個別アドバイスなど隊員活動の支援を行った。
- 中山間地域新たな仕事づくり研究事業(事業化を目指すための研究・実証実験)
・佐久間町にある杉等を利用した精油の商品化に向け継続して調査・研究を行った。
- 乗用モノレール整備等助成事業(公道から自宅まで乗用モノレールを設置する補助金:事業費の1/2、上限140万円)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・浜松山里いきいき応援隊活動事業は、市のHPやデジタル広告、全国の隊員紹介サイト等を活用した募集活動、JOINフェアや県主催の合同募集セミナーへ出展・参加するなどし、積極的に募集活動を実施したが、欠員が埋まらず、目標定員15名に満たなかった。
- ・新たな仕事づくり研究事業では、民間専門人材を活用し、地域・民間企業・行政等で構成する研究会において佐久間町にある杉等を利用した精油の生産・販売事業の可能性について調査・研究を進めるとともに地域外の人を対象としたサンプリング調査を行った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・中山間地域の人口が減少し、暮らしを支える担い手の確保がますます重要となってきている。
- ・地域おこし協力隊は全国の多くの自治体で採用しているため、今後、隊員確保のため、国の制度を注視する必要がある。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・浜松山里いきいき応援隊の待遇を改善し隊員確保に努めた。また隊員OBである応援隊マネージャーによるサポートを行い、隊員が活動しやすい環境づくりに取り組んだ。
- ・新たな仕事づくり研究事業では、民間専門人材を活用し、新事業として進めている佐久間町にある杉等を利用した精油の生産・販売事業について、21回の協議を行った。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・中山間地域の活力の維持、向上を図るため、浜松山里いきいき応援隊を引き続き配置する。新隊員の補充について、大学への周知に加え、浜松山里いきいき応援隊に興味関心がある人へ専用サイト等を活用して、募集を行う。また、実際に隊員としてどのような事をするのか活動を体験する機会を設け、隊員活動への理解を促し、応募へとつなげる。
- ・新たな仕事づくり研究事業は、引き続き専門人材を活用し、地域資源を活用した新たな仕事の創出に向けて、地域団体等の意向やニーズを踏まえながら検討や調査研究を行う。

事業シート (事業名) 04 中山間地域まちづくり事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

中山間地域に生活する市民が、自ら発案し、行動することによって、地域の活性化に寄与できるように、地域の実情に詳しい住民と行政などが協働による地域づくりを推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2012	2021	一般会計	自治事務	-

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(3)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	①実施手段
事業とゴールの関連性	①①地域住民と行政等との協働により、持続可能な生活環境を確保する。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	18,407	28,311	40,507	10,505	10,505	10,478
	決算	17,770	27,932	21,828	101	10,121	10,086
	国・県支出						
	市債						
	その他	17,721	27,904	21,800		10,121	10,000
	一般財源	49	28	28	101		86
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	6,300	6,300	6,300	6,300	7,000	8,400
人工	正規	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0	1.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		24,070	34,232	28,128	6,401	17,121	18,486

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
中山間地域まちづくり事業採択事業累計(事業)		目標	19	20	21	22	23	25
		実績	19	20	22	22	23	24
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○中山間地域まちづくり事業
中山間地域で活動するNPO法人等から、中山間地域振興計画の趣旨に沿った地域課題を解決する事業提案を募集し、1件の提案を受け、採択した。

○まちづくりスクールin里山
地域づくりに取り組む中山間地域のNPO法人等を対象として、新たな事業発案や事業展開等にかかる支援を目的とした講義や事例紹介等を実施した。

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・中山間地域まちづくり事業交付金について、2024年度は1件の相談を受け、審査会にて審査し採択した。
- ・まちづくりスクールin里山は、浜松市市民協働センター指定管理者代表で、自身もNPO法人の代表の代表として活動する方を講師に迎え、市民活動団体の持続可能な運営のポイントや地域人材の活用に関する講義を開催した。
- ・中山間地域の課題解決のため創意工夫を生かした事業提案がされるよう、一層の提案サポートを実施する必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・全国的にNPO法人等地域活動団体の担い手不足が深刻化しており、人口減少が著しい中山間地域では顕著である。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・事業実施における困りごとや事業収支の変更等についてのアドバイスや相談に乗るなど、団体に寄り添った支援を実施した。
- ・当課及び支所等の連携による相談、助言を通じて活用を促進した。
- ・新たな事業提案を促進するため、NPO等の関心が大きいテーマで、まちづくりスクールin里山を開催した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き、中山間地域のNPO法人等に対し、活用促進を図るとともに伴走型支援を行い、地域課題解決につながる創意工夫を生かした事業提案を促していく。
- ・新たな事業提案を促進するため、「まちづくりスクールin里山」の開催や知見を有した専門家の地域派遣などを実施していく。

事業シート (事業名) 05 みんなの中山間地域応援事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

中山間地域の様々な課題解決や地域振興に関するアイデアや事業提案を募集し、効果が見込まれるものを実施するとともに、新たな地域課題に迅速に対応し中山間地域の振興を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2024		一般会計	自治事務	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(3)イ					

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市	①実施手段
事業とゴールの 関連性	①①個人、住民団体又は事業者等との協働により、中山間地域における、複雑・多様化する市民ニーズや地域課題に対応し持続可能な生活環境を確保する。

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算						20,000
	決算						12,240
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源						12,240
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							3,500
人工	正規						0.5
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)							15,740

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
中山間地域まちづくりトライアル事業計(件)		目標						5
		実績						6
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

- 中山間地域まちづくりトライアル事業
中山間地域の課題解決や地域振興に資する事業提案を募集し、審査会で採択された事業について、補助金を交付した。
- 中山間地域活性化事業
中山間地域における新たな地域課題に対して、中山間地域振興アドバイザーの活用や、調査・研究等を実施した。



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・中山間地域まちづくりトライアル事業については、20件の事業提案があり、うち9件は中山間地域以外の事業者からの提案であった。また、審査により6件を実施事業として採択したが、うち4件が中山間地域以外の事業者が実施するものであった。
- ・2024年5月から中山間地域進行アドバイザーを1人委嘱し、現地視察や意見交換などを実施した。
- ・地域課題に対する調査・研究として、天竜区路線バス地域振興効果測定業務を実施した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・中山間地域が抱える課題に向き合い、持続可能な地域づくりを進めるため、第3次中山間地域振興計画が2025年4月にスタートした。



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

中山間地域が抱える地域課題の解決や複雑・多様化する市民ニーズに迅速に対応していく必要があるため、財源の確保についても情報収集していく。

事業シート (事業名) 06 中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

中山間地域の振興のため、中山間地域の生活環境改善と、移住者の就労機会促進による定住支援を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
2015	-	一般会計	自治事務	中山間地域コミュニティビジネス等起業資金貸与条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。					
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	Ⅲ-2(3)イ				

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市						⑧成長・雇用	
事業とゴールの 関連性		⑧コミュニティビジネスの起業支援により、中山間地域での移住者の起業を促進する。 ①コミュニティビジネスの起業支援により、中山間地域への移住及び住み続けられる環境づくりを促進する。					

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	5,000	3,000	3,000	4,000	4,000	2,000
	決算		3,000	1,500	1,000		
	国・県支出						
	市債						
	その他		2,000	1,000	1,000		
	一般財源		1,000	500			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		700	700	700	700	700	1,400
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(決算+A+B)		700	3,700	2,200	1,700	700	1,400

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
貸付事業を活用した起業件数累計(件)		目標	12	14	18	22	26	30
		実績	8	11	13	14	14	14
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)

○中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業

中山間地域に移住してコミュニティビジネスを起業しようとする方に、起業にかかる初期投資費用を100万円を限度に貸し付けるもの。(対象者:中山間地域に移住しようとする方、又は移住して3年以内の方。)

5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

- ・2024年度は9件の相談があったが、申請者の要件に非該当、あるいは事業設計が不明瞭であったため、申請には至らなかった。
- ・2015年度から2024年度までの10年間で、相談は56件あったが、最終貸与まで進んだものは14件となっている。コミュニティ担当職員や起業家カフェなどへの相談をいかに申請につなげるかが重要である。
- ・本事業が中山間地域への移住のインセンティブとなるよう、有効に活用していく必要がある。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・働き方や暮らしの価値観が見直され、自分に合った豊かなライフスタイルを実現しやすい、地方回帰や田舎暮らしの機運が高まっている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・2024年度はこれまで二期に分けていた申請期間を見直し、申請可能期間を拡充した。

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・中山間地域への移住のインセンティブとなるよう、移住希望者からの相談を受ける中で、起業を目指している相談者や関心がある相談者に対して、当制度をPRし、制度利用者の増加を図る。
- ・移住コーディネーターや支所職員と連携し、地域課題の解決に向けた起業を支援していく。

事業シート (事業名) 07 過疎地域持続的発展事業基金積立金(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	154,028	18,221	159,062	146,614	121,803	97,599
	決算	154,027	18,220	159,062	146,613	121,802	97,599
	国・県支出						
	市債	154,000	18,125	159,000	146,600	121,800	97,000
	その他	27	95	62	13	2	599
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		280	280	280	280	280	560
人工	正規						
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
年間経費(決算+A+B)		154,307	18,500	159,342	146,893	122,082	98,159

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 08 中山間地域振興運営経費(一般諸経費のみ)

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。						
総合戦略	—	(施策)						

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性								

2 事業コストの状況(千円)

		2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
事業費(千円)	予算	1,975	1,954	1,869	2,261	4,520	6,436
	決算	1,347	1,086	835	1,394	2,151	4,631
	国・県支出						
	市債						
	その他	284	155	160	136		119
	一般財源	1,063	931	675	1,258	2,151	4,512
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		7,140	7,140	4,760	4,760	7,560	11,340
人工	正規	0.9	0.9	0.6	0.6	1.0	1.5
	再任用(31h)						
	再任用(26h)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3
年間経費(決算+A+B)		8,487	8,226	5,595	6,154	9,711	15,971

3 事業の指標の状況(2024:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	年度	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						
		目標						
		実績						

4 当年度(2024年度)事業実施内容 (Do)



5 当年度(2024年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 当年度(2024年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 翌年度(2025年度)以降見直し内容(今後の方向性)
大項目 小項目 / 事業費 人工